

# 目次

## 第Ⅰ部

### わが国を取り巻く 安全保障環境

#### 概 観

第1節	国際社会の動向	1
第2節	アジア太平洋地域の安全保障環境	2
第3節	グローバルな安全保障上の課題	5

#### 第1章 諸外国の防衛政策など

第1節	米国	7
1	安全保障政策・国防政策	7
2	軍事態勢	12
第2節	朝鮮半島	15
1	北朝鮮	15
2	韓国・在韓米軍	29
第3節	中国	33
1	全般	33
2	軍事	34
3	対外関係など	50
4	台湾の軍事力など	55
第4節	ロシア	57
1	全般	57
2	安全保障・国防政策	57
3	軍事態勢と動向	59
4	わが国の周辺のロシア軍	62
5	対外関係	64
第5節	オーストラリア	69
1	全般	69
2	安全保障・国防政策	69
3	対外関係	71
第6節	東南アジア	74
1	全般	74
2	各国の安全保障・国防政策	75
3	各国の軍の近代化	82
4	南シナ海における領有権をめぐる動向	83
5	地域内の協力	85
第7節	南アジア	85
1	インド	85
2	パキスタン	88
第8節	欧州	90
1	全般	90
2	多国間の安全保障の枠組みの強化	91
3	欧州各国の安全保障・防衛政策	93

#### 第2章 国際社会の課題

第1節	地域紛争・国際テロリズムなどの動向(中東・アフリカを中心に)	96
1	全般	96
2	各地の紛争の現状と国際社会の対応	97
3	拡散する国際テロリズムをめぐる動向	109
4	エボラ出血熱の流行に対する国際社会の取組	112
第2節	大量破壊兵器の移転・拡散	113
1	核兵器	113
2	生物・化学兵器	114
3	弾道ミサイルなど	115
4	大量破壊兵器などの移転・拡散の懸念の拡大	116
5	イランの核問題	116
第3節	海洋をめぐる動向	118
1	東シナ海・南シナ海における「公海自由の原則」をめぐる動向	118
2	北極海をめぐる動向	119
3	海洋安全保障への各国の取組	120
第4節	宇宙空間と安全保障	123
1	宇宙空間と安全保障	123
2	宇宙空間における各国の安全保障利用の動向	124
第5節	サイバー空間をめぐる動向	128
1	サイバー空間と安全保障	128
2	サイバー空間における脅威の動向	128
3	サイバー攻撃に対する取組	130
第6節	軍事科学技術と防衛生産・技術基盤をめぐる動向	132
1	軍事科学技術の動向	132
2	防衛生産・技術基盤をめぐる動向	134

## 第Ⅱ部

### わが国の安全保障・防衛 政策と日米同盟

#### 第1章 わが国の安全保障と防衛の基本的考え方

第1節	わが国の安全保障を確保する方策	135
第2節	憲法と防衛政策の基本	136
1	憲法と自衛権	136
2	憲法第9条の趣旨についての政府見解	136
3	基本政策	138
第3節	平和安全法制などの整備	139
1	検討の経緯と「閣議決定」の概要	139
2	平和安全法制整備法案の概要	141
3	国際平和支援法案の概要	147
4	治安出動・海上警備行動などの発令手続の迅速化	147
5	現行の関連する安全保障法制	148

#### 第2章 国家安全保障戦略と防衛計画の大綱など

第1節	国家安全保障戦略の概要	153
1	国家安全保障会議	153
2	国家安全保障戦略	153
第2節	防衛計画の大綱の概要	156
1	基本的な考え方—統合機動防衛力の構築—	156
2	新たな安全保障環境	157
3	わが国の防衛の基本方針	157
4	防衛力のあり方	159
5	防衛力の能力発揮のための基盤	163
6	留意事項	165
第3節	中期防衛力整備計画の概要	165
1	計画の方針	165
2	基幹部隊の見直しなど	165
3	自衛隊の能力などに関する主要事業	167
4	日米同盟の強化のための施策	169
5	整備規模	169
6	所要経費	170
7	その他	170
第4節	防衛装備移転三原則	170
1	防衛装備移転三原則の策定趣旨	170
2	防衛装備移転三原則の内容	171

#### 第3章 日米同盟の強化

第1節	日米安全保障体制の意義	172
1	わが国の平和と安全の確保	172
2	わが国の周辺地域の平和と安定の確保	172
3	グローバルな安全保障環境の一層の安定化	173
第2節	ガイドライン見直しの概要	173
1	ガイドライン見直しの経緯	173
2	新ガイドラインの内容	174
第3節	同盟強化の基盤となる取組	181
1	同盟強化の経緯	181
2	日米間の政策協議	183
3	同盟強化の主な取組	188
第4節	在日米軍の駐留	192
1	在日米軍の駐留	192
2	在日米軍再編の進捗状況	196
3	沖縄における在日米軍の駐留	199
4	沖縄を除く地域における在日米軍の駐留	209
5	在日米軍再編を促進するための取組	213
6	在日米軍施設・区域がもたらす影響の緩和に関する施策	213

#### 第4章 防衛省改革

第1節	防衛省・自衛隊の組織	215
1	防衛力を支える組織	215
2	自衛隊の統合運用体制	217
第2節	防衛省改革の背景・経緯	218
1	改革の背景・経緯	218
2	防衛省改革の方向性	218
第3節	防衛省改革の具体的取組	219
1	昨年度の主な取組	219
2	27年度の主な取組	219

第Ⅲ部

国民の生命・財産と領土・領海・領空を守り抜くための取組

第1章 統合機動防衛力の構築に向けて

第1節 実効的な抑止および対処 ..... 222

- 1 周辺海空域における安全確保 ..... 223
- 2 島嶼部に対する攻撃への対応 ..... 226
- 3 弾道ミサイル攻撃などへの対応 ..... 229
- 4 海洋安全保障の確保に向けた取組 ..... 231
- 5 宇宙空間における対応 ..... 232
- 6 サイバー空間における対応 ..... 232
- 7 大規模災害などへの対応 ..... 234
- 8 ゲリラや特殊部隊などによる攻撃への対応 ..... 238
- 9 在外邦人等の輸送への対応 ..... 240
- 10 侵略事態への備え ..... 240
- 11 その他の対応 ..... 242

第2節 平成27年度の防衛力整備 ..... 245

第3節 防衛関係費 ..... 246

- 1 防衛関係費とその推移 ..... 246
- 2 防衛関係費の内訳 ..... 246
- 3 各国との比較 ..... 248

第4節 防衛力を支える人的基盤 ..... 249

- 1 募集・採用 ..... 249
- 2 日々の教育訓練 ..... 252
- 3 女性職員の活躍推進 ..... 253
- 4 人的資源の効果的な活用に向けた施策など ..... 255
- 5 衛生機能の強化 ..... 257

第2章 防衛装備品に関する諸施策

第1節 防衛生産・技術基盤の現状と防衛生産・技術基盤戦略 ..... 258

- 1 わが国の防衛生産・技術基盤の現状 ..... 258
- 2 防衛生産・技術基盤戦略 ..... 259

第2節 契約制度の改善などへの取組 ..... 261

- 1 契約制度などの改善 ..... 261
- 2 調達効率化に向けた取組など ..... 263

第3節 研究開発 ..... 264

- 1 装備品の研究開発の方向性 ..... 264
- 2 技術研究本部での取組 ..... 265
- 3 国内機関との技術協力 ..... 265

第4節 防衛装備・技術協力 ..... 266

- 1 米国との防衛装備・技術協力関係の深化 ..... 266
- 2 新たな防衛装備・技術協力の構築 ..... 267
- 3 民間転用 ..... 269
- 4 技術管理など ..... 269

第3章 安全保障協力の積極的な推進

第1節 各国等との防衛協力・交流 ..... 270

- 1 安全保障協力・対話、防衛協力・交流の意義と変遷 ..... 270
- 2 多国間安全保障枠組み・対話における取組 ..... 270
- 3 能力構築支援をはじめとする実践的な多国間安全保障協力の推進 ..... 276
- 4 各国との防衛協力・交流の推進 ..... 279

第2節 国際社会の課題への取組 ..... 291

- 1 海洋安全保障の確保 ..... 291
- 2 国際平和協力活動への取組 ..... 297
- 3 軍備管理・軍縮・不拡散への取組 ..... 305

第4章 地域社会・国民とのかかわり

第1節 地域コミュニティとの連携 ..... 308

- 1 市民生活の中での活動や社会に貢献する活動 ..... 308
- 2 地方公共団体などによる自衛隊への協力 ..... 308
- 3 地方公共団体および地域住民の理解および協力を確保するための施策 ..... 308
- 4 防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策 ..... 309

第2節 情報発信や情報公開など ..... 310

- 1 様々な広報活動 ..... 310
- 2 情報公開などへの取組 ..... 312

コラム

第I部

解説 ISILの統治の実態とこれまでのテロ組織との違い ..... 101

第II部

解説 陸上自衛隊創隊以来の大改革 ..... 166

第III部

解説 南西地域の防空態勢の充実～新たな航空団の編成～ ..... 228

解説 防衛駐在官について ..... 244

解説 きずなを「紡ぐ」～連絡官の派遣と受入れ～ ..... 244

VOICE いざというときに活躍する「自衛隊員」たち ..... 251

VOICE 活躍する女性自衛官 ..... 254

解説 空自創設60周年記念空軍参謀長等招へい行事について ..... 275

VOICE 防衛省職員としての抱負 ..... 281

VOICE 初の多国籍部隊司令官に就任するにあたって ..... 296

凡例

本書における次の用語は、それぞれ次の略称を用いました。

- 1 陸上自衛隊 → 陸 自
- 2 海上自衛隊 → 海 自
- 3 航空自衛隊 → 空 自
- 4 統合幕僚長 → 統幕長
- 5 陸上幕僚長 → 陸幕長
- 6 海上幕僚長 → 海幕長
- 7 航空幕僚長 → 空幕長
- 8 統合幕僚監部 → 統 幕
- 9 陸上幕僚監部 → 陸 幕
- 10 海上幕僚監部 → 海 幕
- 11 航空幕僚監部 → 空 幕

本書の文中において、次の用語について、それぞれ次の略称を用いたほか、適宜ほかの用語についても略称を用いているところがあります。(一部説明の都合で正式名称としている場合があります。)

- 1 「平成26年度以降に係る防衛計画の大綱」 → 25大綱
- 2 「平成23年度以降に係る防衛計画の大綱」 → 22大綱
- 3 「平成17年度以降に係る防衛計画の大綱」 → 16大綱
- 4 「平成8年度以降に係る防衛計画の大綱」 → 07大綱
- 5 「昭和52年度以降に係る防衛計画の大綱」 → 51大綱
- 6 日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約 → 日米安保条約
- 7 国際連合 → 国連
- 8 国連安全保障理事会 → 国連安保理

本書に掲載しているわが国の地図については、デザイン、レイアウトなどの関係上、必ずしもわが国の領土の全てを含んでいない場合があります。

本書の記述の対象は、原則として平成27年5月下旬までです。